

エコアクション通信 三協ワシメタル株式会社



企業の体幹を強化し、
持続可能な未来へ

とやま環境財団では、県内事業者の環境経営を支援するセミナーを今年2月に開催しました。

事例発表では、エコアクション21の認証・登録事業者を代表して三協ワシメタル株式会社様より、社員の「きづき」を環境経営に生かす独自の取組みについてご講演いただきました。その内容をご紹介します。

● 「きづきカード」制度で、賞金支給

弊社では、2009年に従業員全員からの「改善提案」を進めようと「きづきカード推進実施要領」を制定し、運用を開始しました。これは、一人ひとりが日々の業務で感じた困り事や改善につながる「きづき」を、会社全体の経営に生かす取組みです。

社員は、改善できると感じた「きづき」を専用のカードに記入し、改善策として考えたことや実践した内容と、算定した経済効果も書き添えて毎月提出することができます。その経済効果や独創性について社内審査が行われ、配点表に基づいた採点で賞が決定します。審査の結果は、翌月の全体朝礼で発表され、社員には、点数に応じて賞金が支給されます。

制度スタートから13年が経過した現在でも、毎月20件を超える提出があります。毎月一人何枚でも提出可能ですので、常連組も多数おります。また、審査内容により著しく効果があると認めた「きづき」については、その経済効果の5%を支給する特別賞を設けており、実際に受賞された方もいらっしゃいます。

カードはデータベース化され誰でも閲覧できるようになっていますので、社員の間に自然と「カイゼン」の循環が生まれているように感じます。



三協ワシメタル株式会社

<https://www.sankyo-washimetal.co.jp/>

エコアクション 21 認証・登録

2007年8月

- ・アルミ鋳造品及び精密機械部品を100%受注生産し、ニーズに対応。
- ・鋳造から熱処理、加工までの製造と開発を一貫して行うことが強み。



「きづきカード制度」について講演する
三協ワシメタル（株） 管理部部長 安多 広志さん
環境経営促進セミナー（2023.2.7 富山県民会館）



「きづきカード」の例

社員が感じた改善前の「きづき」は上の欄へ。改善策や実践した内容は、次の欄へ。社員は経済効果も算定し、提出する。

● 一人の「きづき」が、環境経営を促進

提出されたカードの半数以上は、製造現場からの声となっています。自社の製造工程には、高温の溶解炉で地金を溶かして、高圧プレスで成型するダイカストや砂型鋳造などがあり、電気やガスのエネルギーを多く必要とします。このため、小さな「きづき」でも、大きな省エネに繋がる可能性を秘めています。

これまでの改善では、機械加工時間の短縮やまとめ出荷が実現し、電気やガソリンの使用量を削減することができました。

これからも社員全員の声を大切に、環境経営に取り組んでいきたいと考えております。

【エコアクション 21】環境省策定のガイドラインに基づき、環境経営に取り組む事業者を認証・登録する制度。県内での認証・登録は、105社（R 5.3末）。